

令和5年6月

令和5年	4月	～	6月期	実績
令和5年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

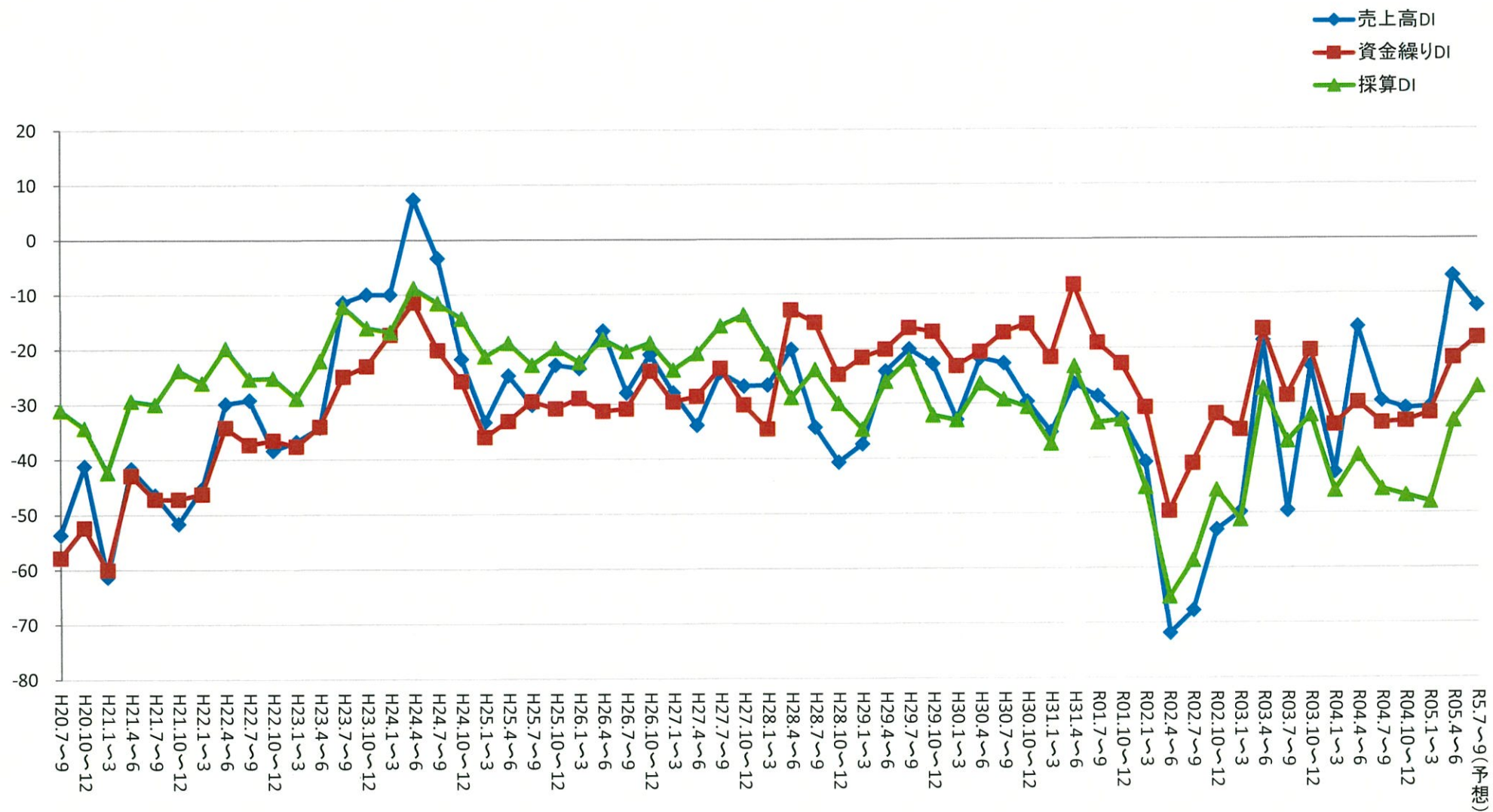
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ―前年同期比―



業 況 天 気 図

期 間 業 種	令和3年 7～9月	10～12月	令和4年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	令和5年 1～3月	(今期) 4～6月	(見通し) 7～9月
製 造 業	 曇	 曇	 雨	 晴	 薄 曇	 曇	 曇	 曇	 薄 曇
建 設 業	 雨	 曇	 曇	 薄 曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 雨
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇
サ ー ビ ス 業	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 晴	 薄 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

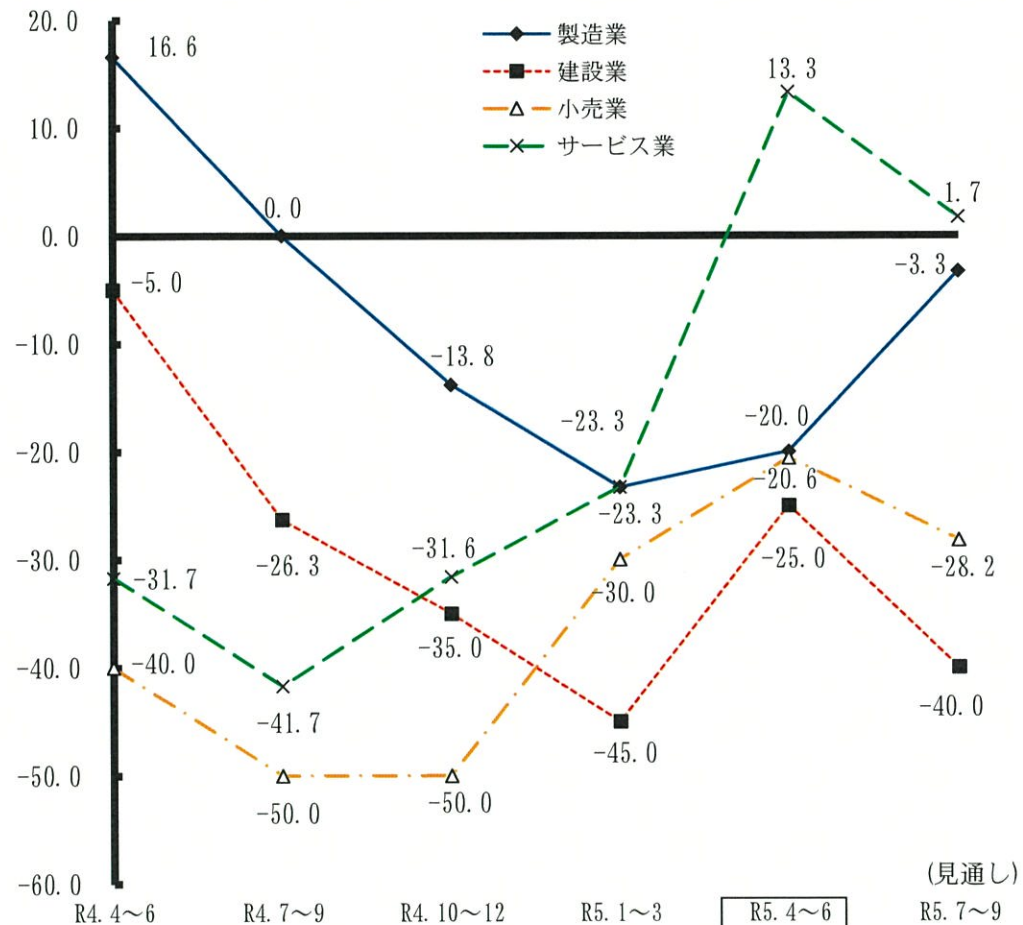
全産業において売上高D・Iが改善
サービス業はプラス域まで回復

今期の売上高D・Iは、全産業において改善し、サービス業は3期連続の改善となり、平成24年4月～6月期以来11年ぶりにプラス域まで回復しました。

サービス業は36.6ポイントの大幅な増加となり13.3、製造業が3.3ポイント増加して△20.0、建設業も20.0ポイントの大幅増により△25.0、小売業も9.4ポイントの増加となり△20.6までそれぞれ改善しています。

来期は、製造業においてプラス域近くまでの改善が見込まれるものの、サービス業、小売業、建設業においては悪化に転じる見通しとなっています。

※建設業の売上高は完成工事高



全産業の推移

採算

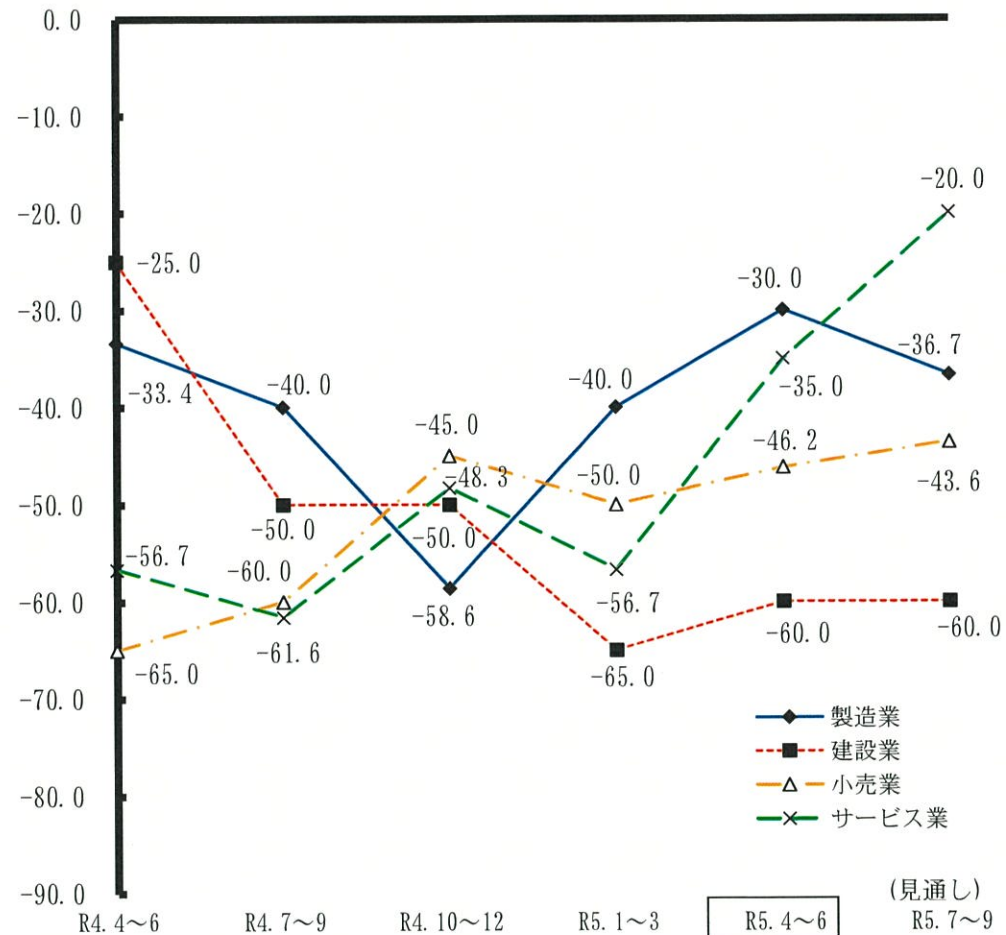
全産業において採算D・Iが改善
サービス業が大幅に上昇

今期の採算D・Iは、製造業が2期連続の改善、小売業、サービス業、建設業においても改善となりました。

製造業は10.0ポイント増加して△30.0まで改善、小売業は3.8ポイント増加の△46.2、サービス業は21.7ポイントの大幅な増加により△35.0まで改善、建設業も5.0ポイント増加して△60.0まで改善しています。

来期は、2期連続して改善が見られた製造業が悪化に転じる見通しですが、建設業は横ばい、サービス業、小売業においては今期に引続き改善することが見込まれています。

※採算は各業種とも経常利益



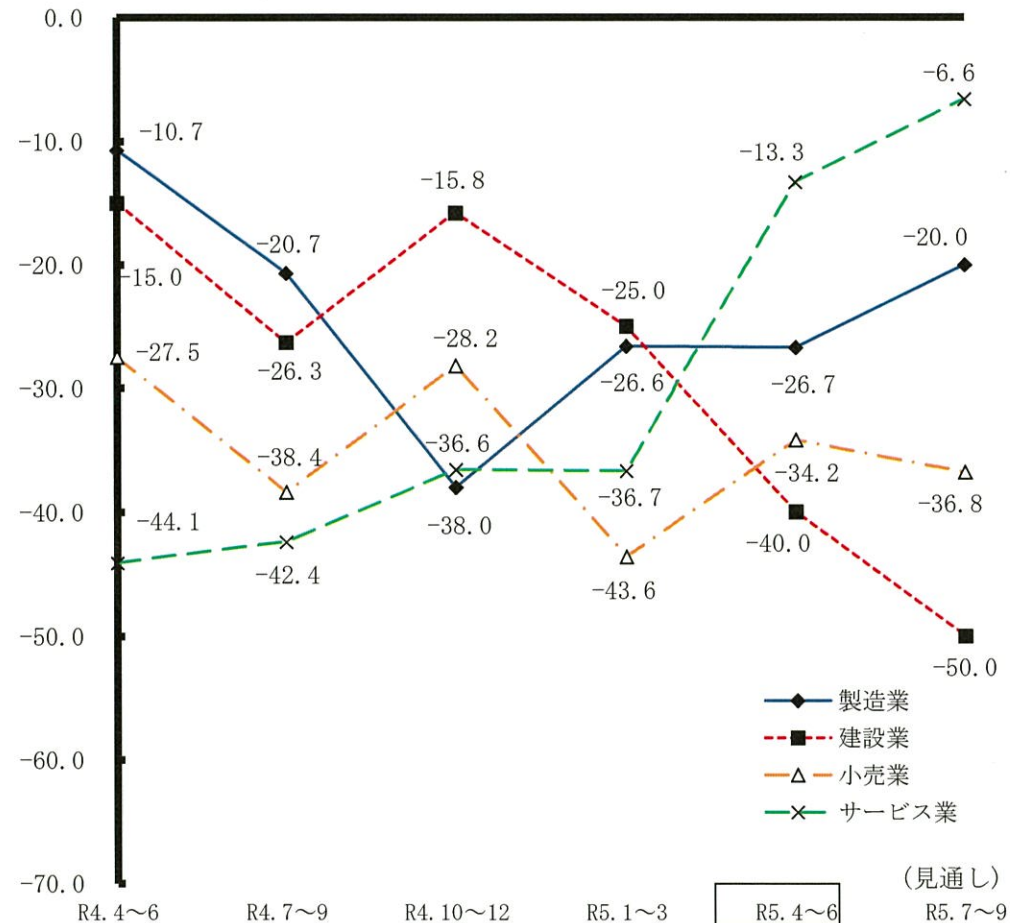
全産業の推移

資金繰り

**サービス業、小売業において資金繰りが改善
建設業は大幅に悪化**

今期はサービス業、小売業において資金繰りD・Iが改善しました。
サービス業は4期連続しての改善となり、今期は23.4ポイントの大幅な増加により△13.3まで改善、小売業は9.4ポイントの増加により△34.2、製造業は僅かながら減少して△26.7と悪化しました。他方、建設業においては2期連続の悪化となり、15.0ポイント減少して△40.0まで悪化しました。

来期は、サービス業、製造業において資金繰りD・Iが改善することが予想されるものの、小売業、建設業においては悪化することが見込まれています。



製造業の推移

売上高

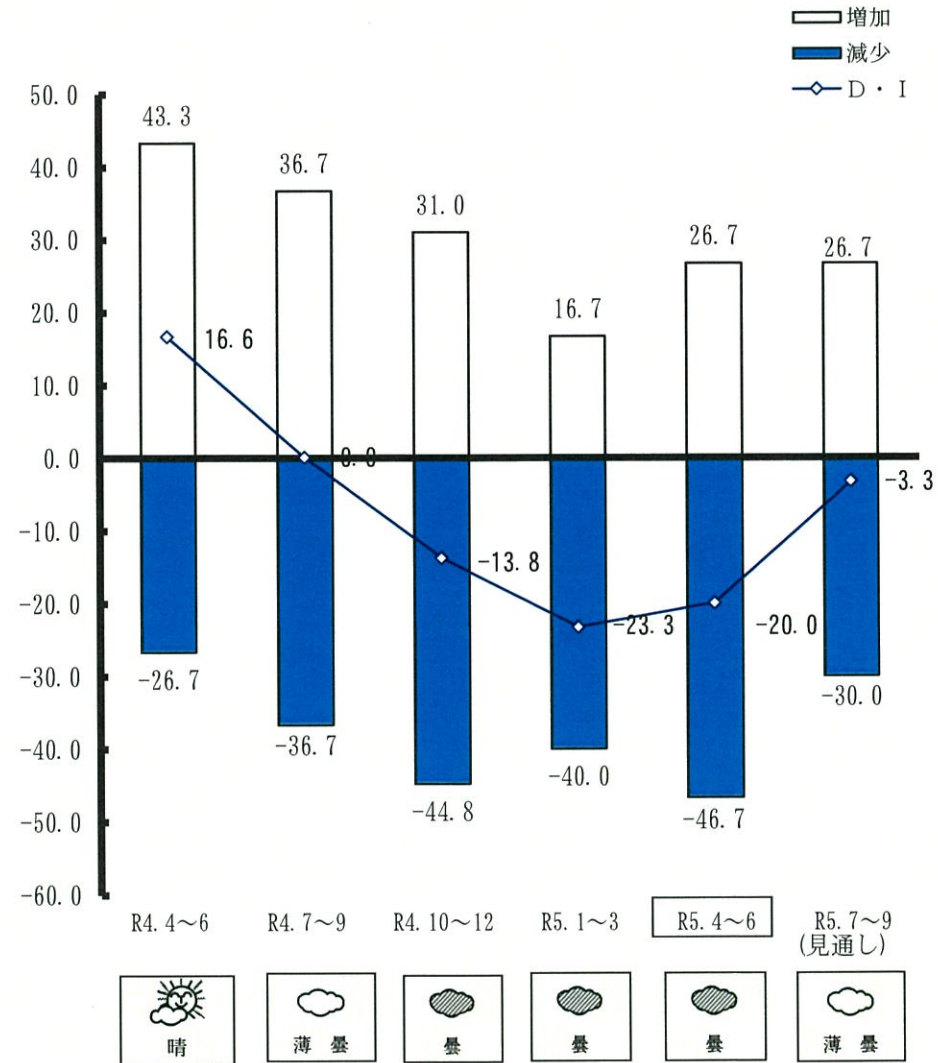
<今 期>

<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が10.0ポイント増加したものの、売上高減少企業の割合が6.7ポイント増加したことから、売上高D・Iは3.3ポイントの小幅な増加にとどまり△20.0となっています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合は今期と横ばいにとどまるものの、売上高の減少を予想する企業割合が大幅に減少することから、売上高D・Iは改善に転じ、景況天気図も曇から薄曇りへと変化する見通しです。



採算

<今 期>

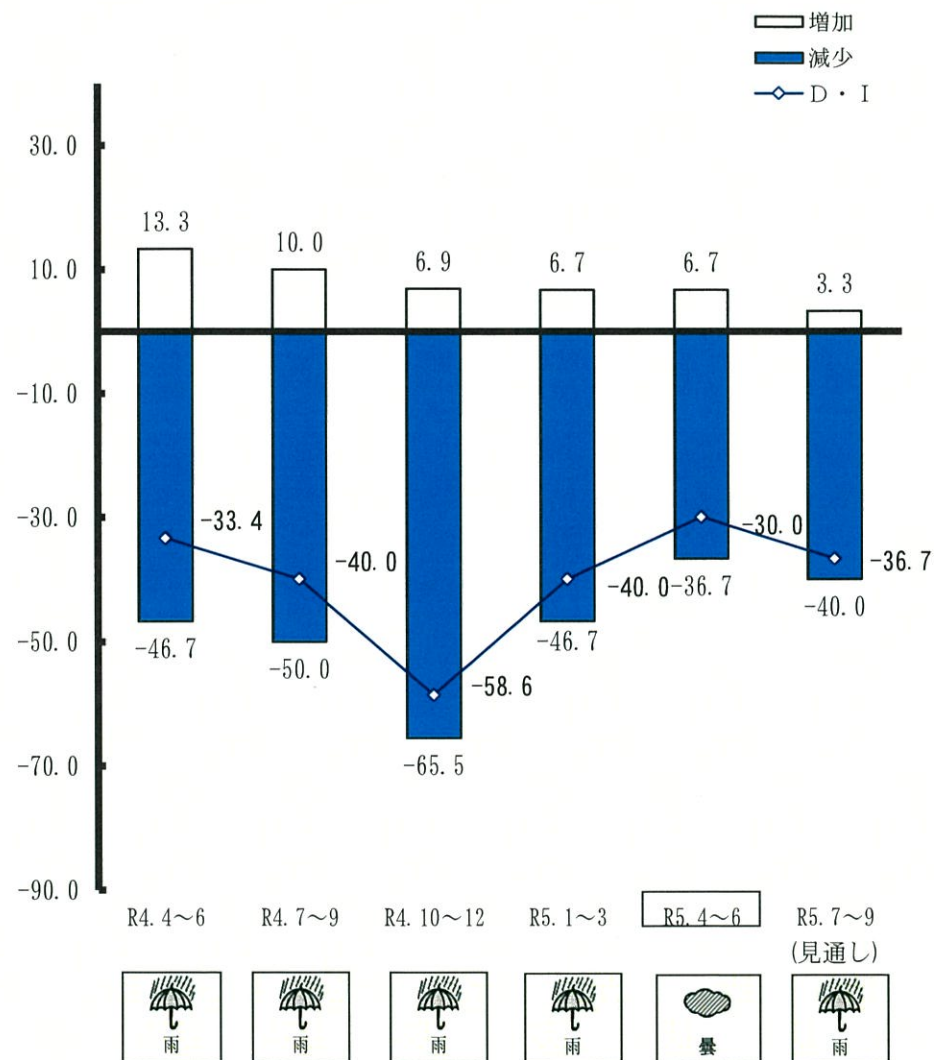


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合は前期と横ばいにとどまったものの、採算が悪化した企業の割合が10.0ポイントの減少となったことから、採算D・Iは10.0ポイントの増加となり、△30.0まで改善しました。

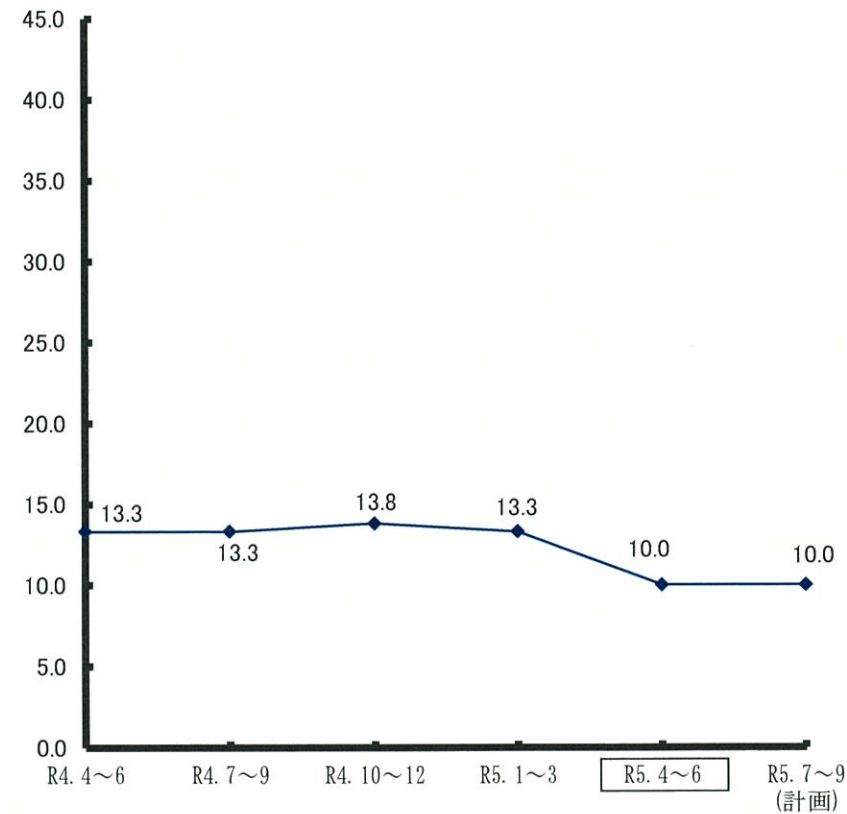
来期は、採算の改善を予想する企業が減少に転じ、採算の悪化を予想する企業は増加することから、採算D・Iは、悪化に転じることが見込まれ、景況天気図も曇りから雨へと変化することが予想されています。



設備投資

今期製造業において設備投資を実施した企業数の割合は減少となり、10.0にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は今期と同じレベルにとどまることが予想されています。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

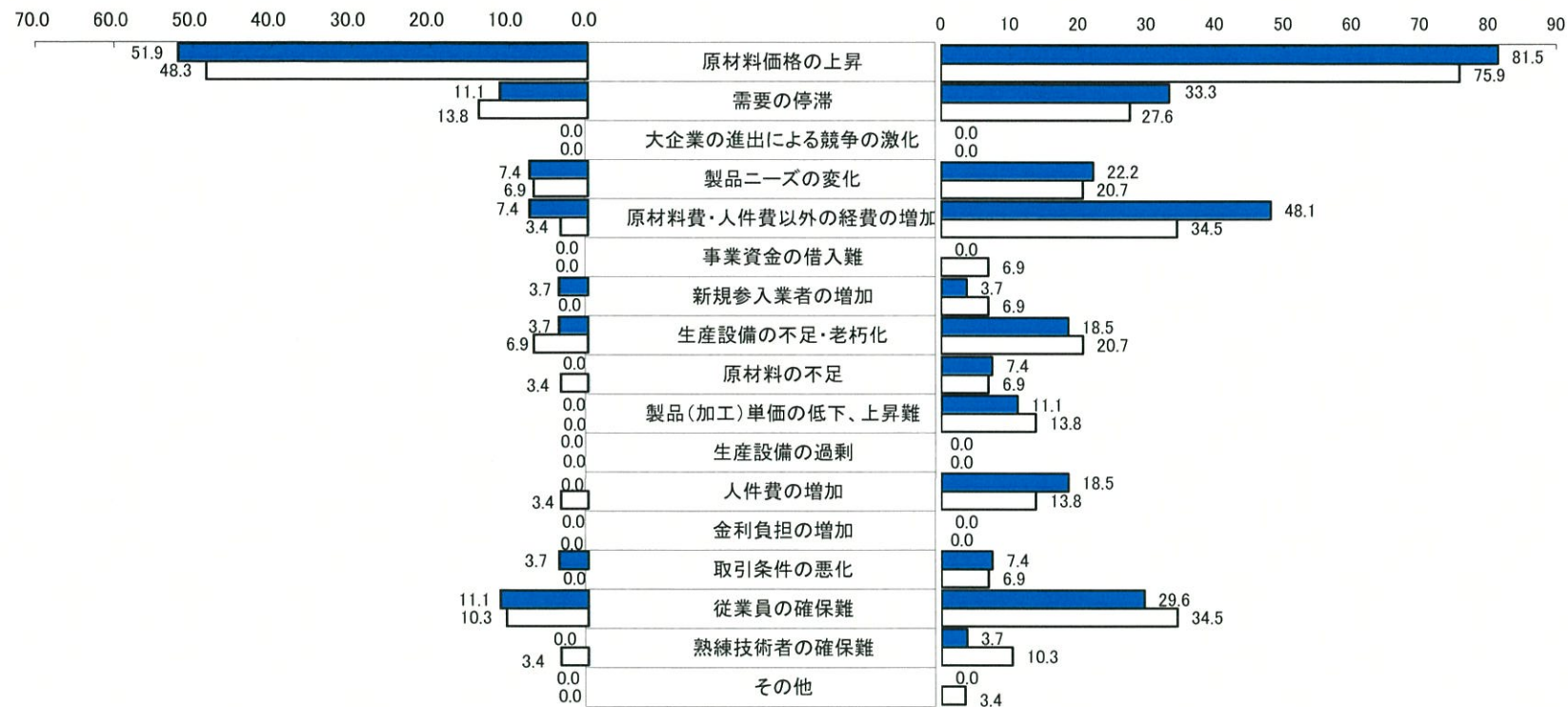
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

1位～3位の問題点

(目盛: %)



□ 前期 ■ 今期

売上高

<今 期>

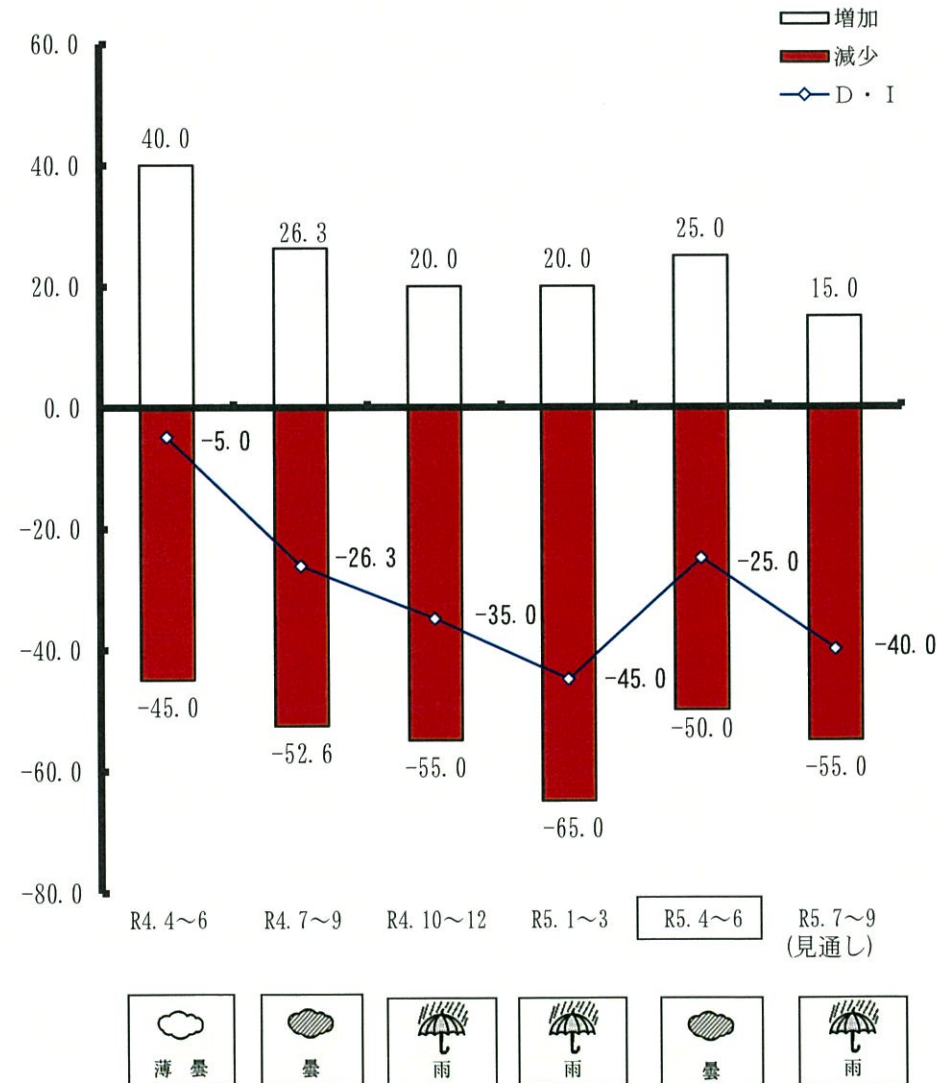


<来期見通し>



3期連続して悪化していた建設業の売上高D・Iは、改善に転じています。今期は、売上高が増加した企業割合が5.0ポイント増加し、売上高が減少した企業割合が15.0ポイントの大幅な減少となったため、売上高D・Iは増加に転じ、△25.0まで改善しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少し、売上高の減少を予想する企業の割合も増加となることが見込まれることから、売上高D・Iは再び悪化に転じ、景況天気図も曇りから雨へと変化することが予想されています。



※建設業の売上高は完成工事高



建設業の推移

採算

<今 期>

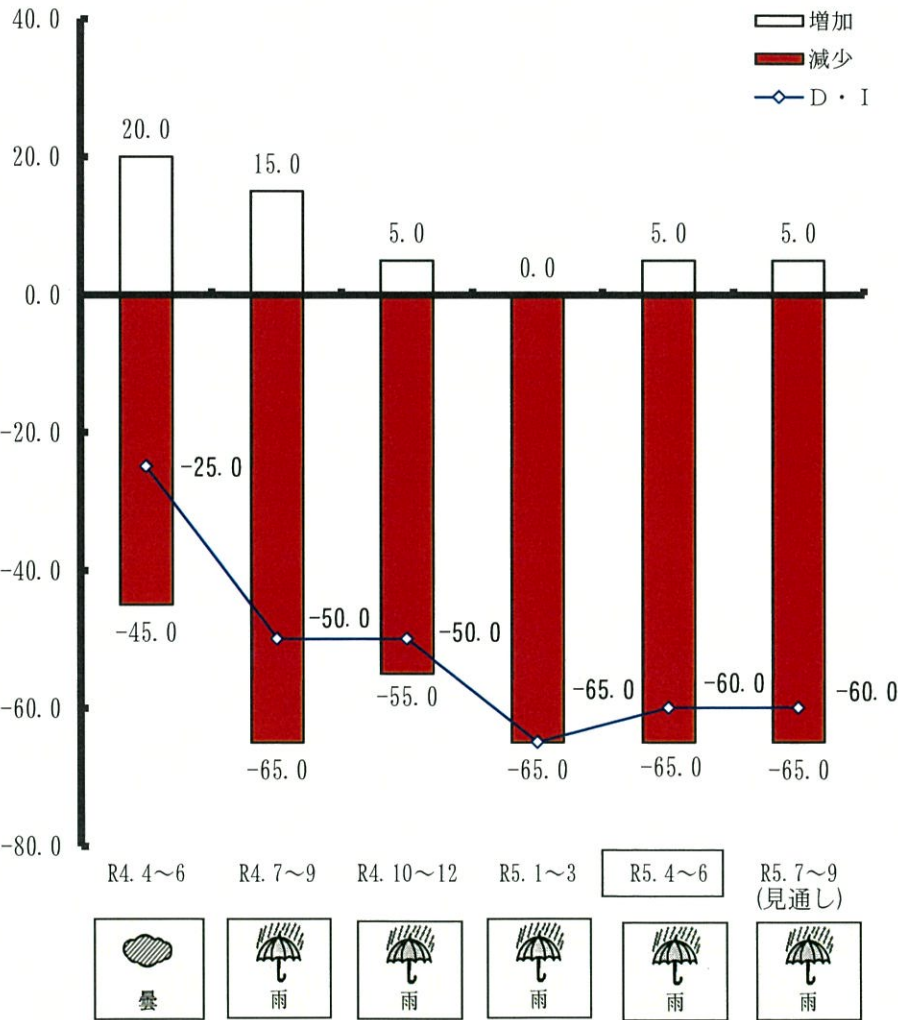


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が5.0ポイント増加したものの、採算の悪化を挙げた企業の割合が同水準であったことから、採算D・Iは5.0ポイントの増加にとどまり、依然として△60.0の低い水準で推移しています。

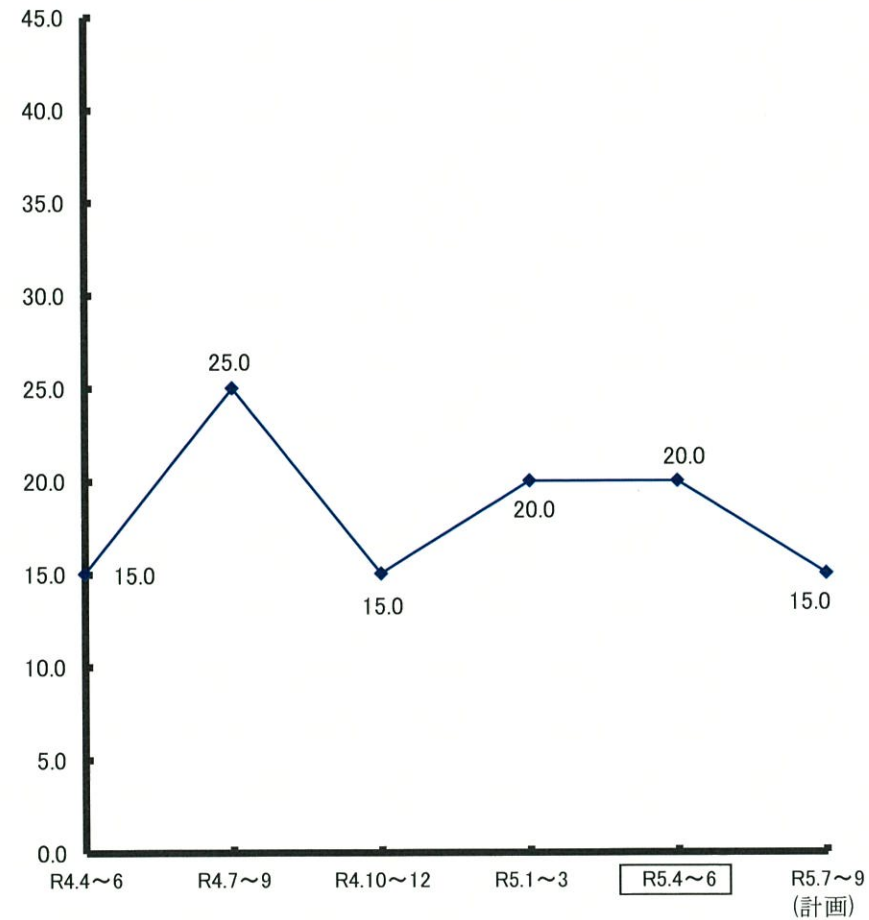
来期は、採算の改善を予想する企業、採算の悪化を予想する企業ともに今期と同じ水準にとどまることから、採算D・Iは変化せず、今期と同じ低いレベルとなることが予想されています。



設備投資

建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期と同じ20.0となっています。

来期は設備投資を実施する企業数の割合は再び減少に転じる見通しで、前々期と同レベルの15.0まで低下することが予想されます。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

建設業の推移

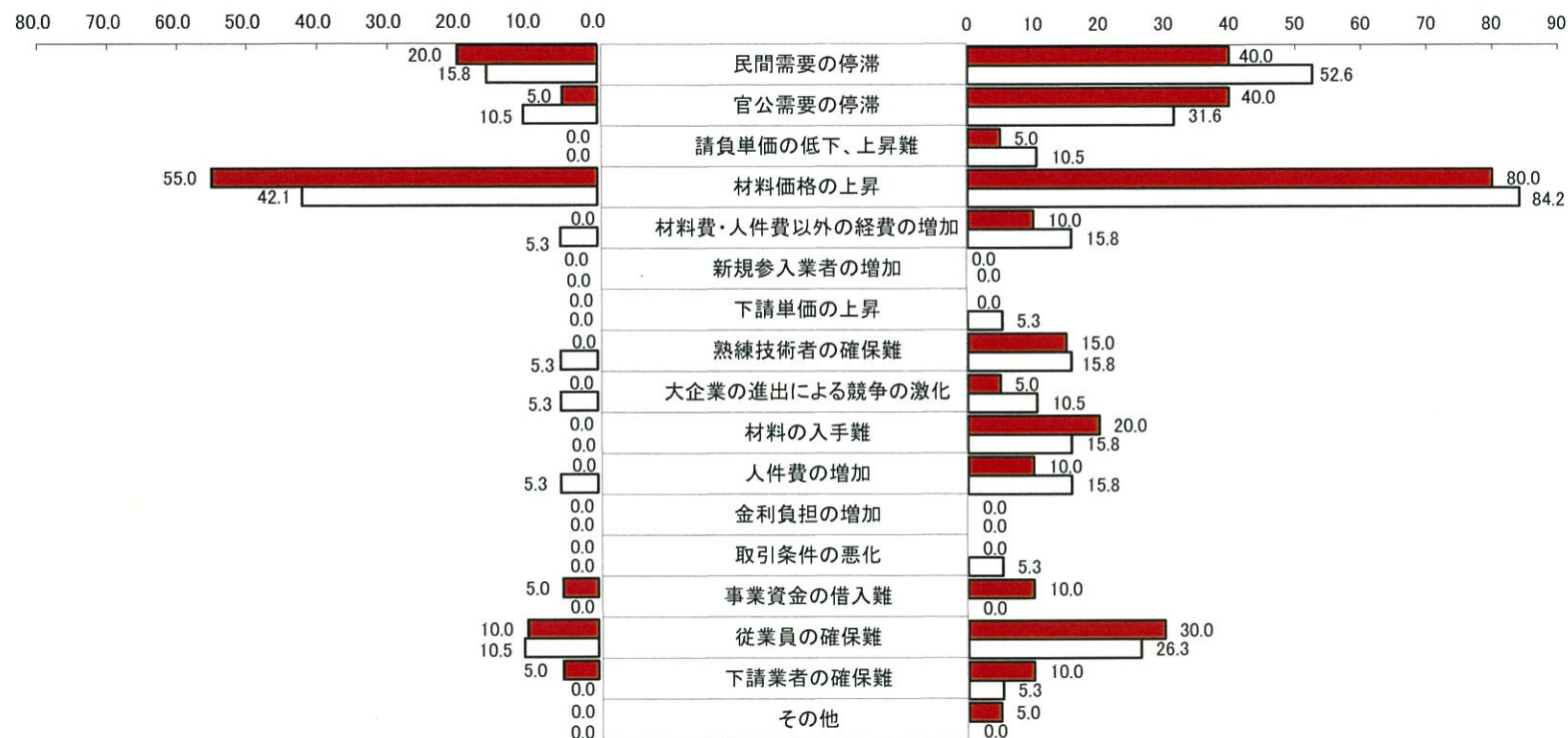
経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

1位～3位の問題点 (目盛: %)



小売業の推移

売上高

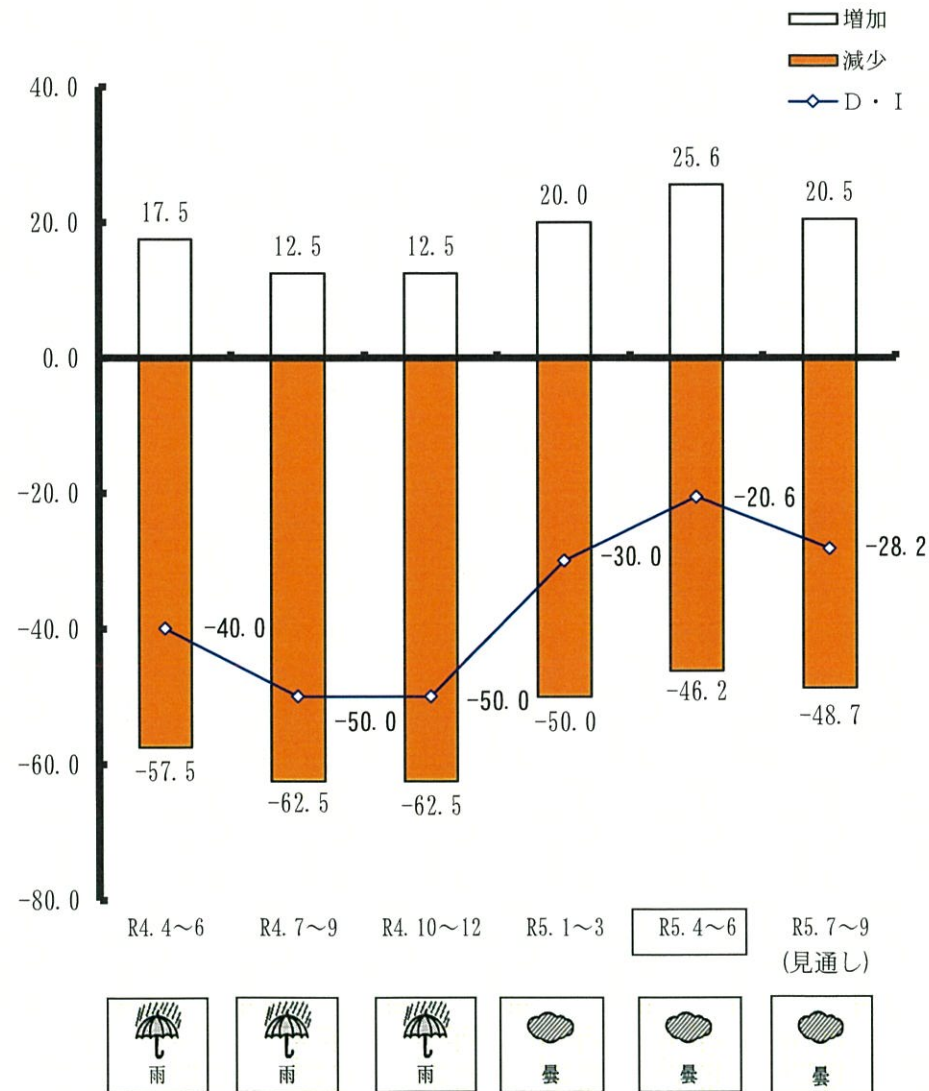
<今 期>

<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が増加し、売上高減少企業の割合が減少したことにより、売上高D・Iは9.4ポイントの増加となり、2期連続の増加により△20.6まで回復しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が減少し、売上高減少を予想する企業割合が増加することが見込まれるため、売上高D・Iは悪化に転じる見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

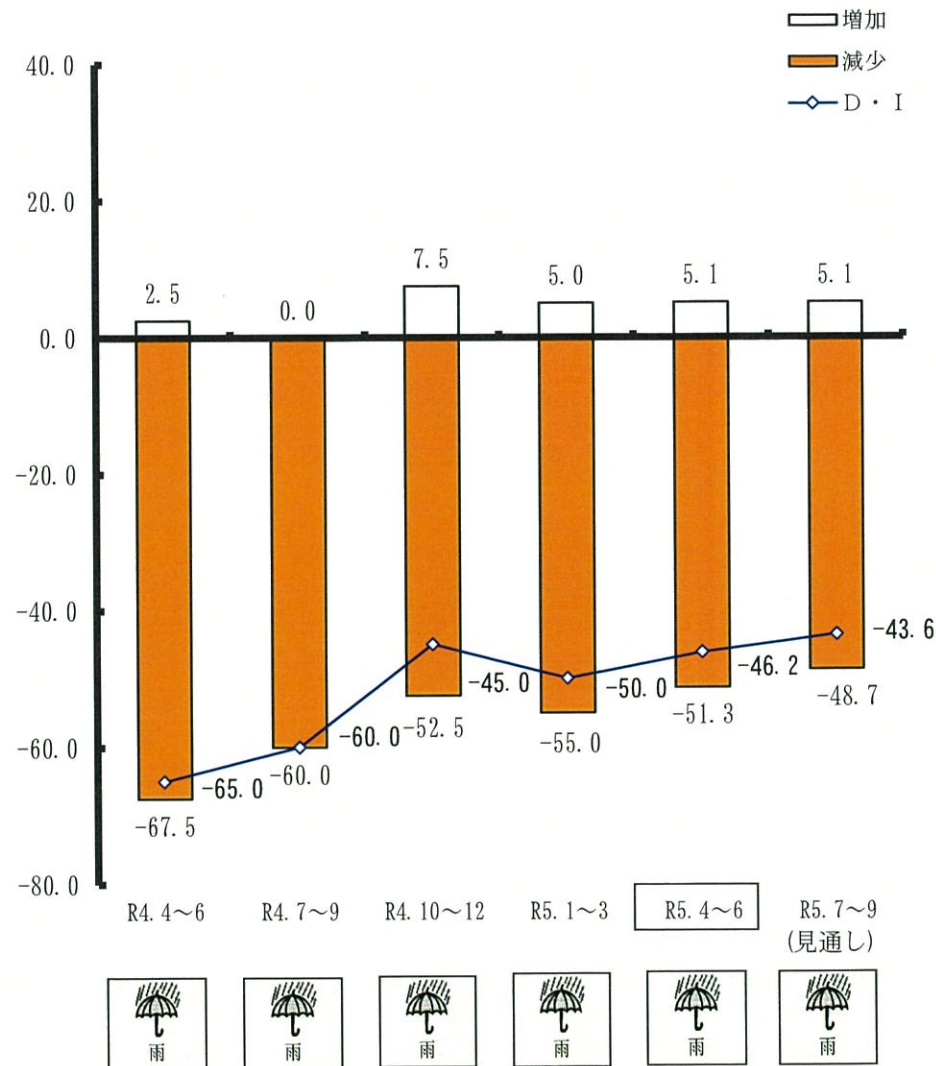
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合はほぼ前期と横ばいにとどまり、また、採算が悪化した企業割合は3.7ポイント小幅な減少にとどまったため、採算D・Iは3.6ポイントの増加にとどまり、△46.2となり、依然として低い水準にとどまっています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が今期と横ばい、また、採算の悪化を予想する企業割合が僅かながら減少することから、採算D・Iは僅かながら改善する見通しです。

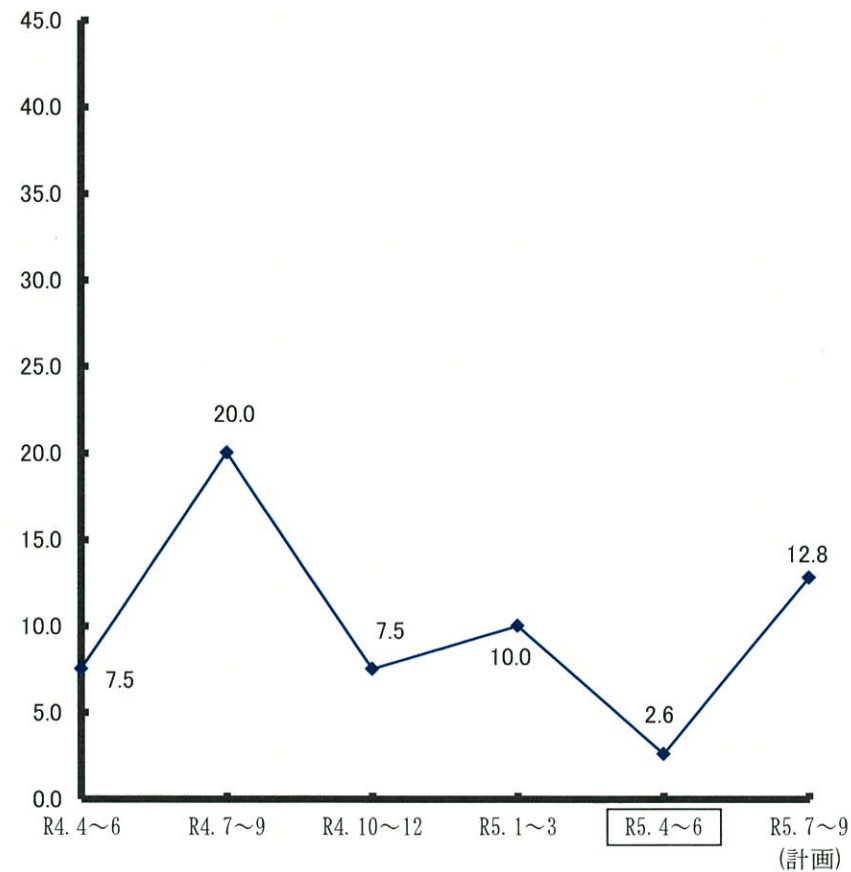


小 売 業 の 推 移

設 備 投 資

今期、小売業において設備投資を実施した企業数の割合は減少に転じ、2.6にとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は大きく増加し、12.8まで回復する見通しです。



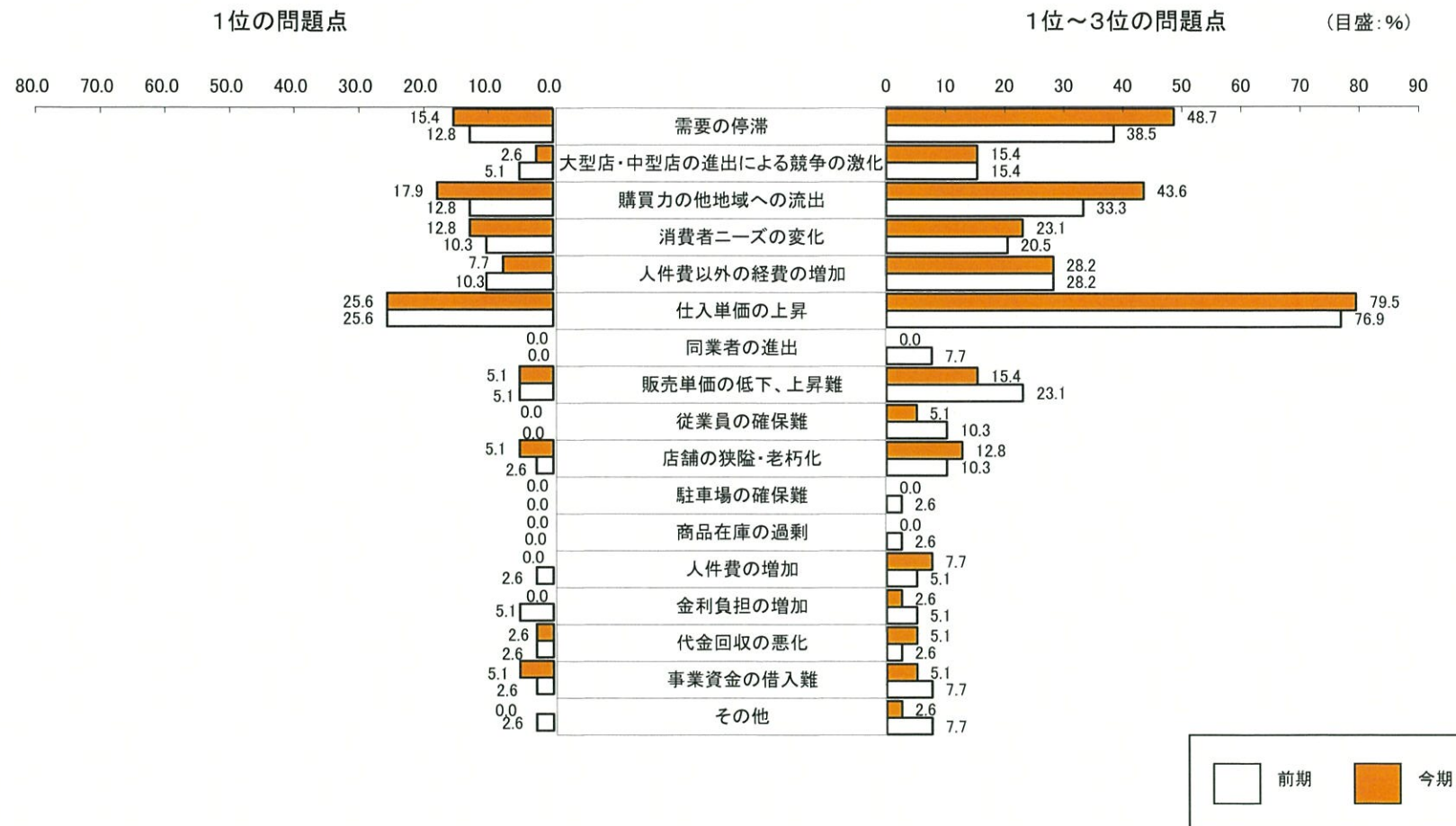
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>



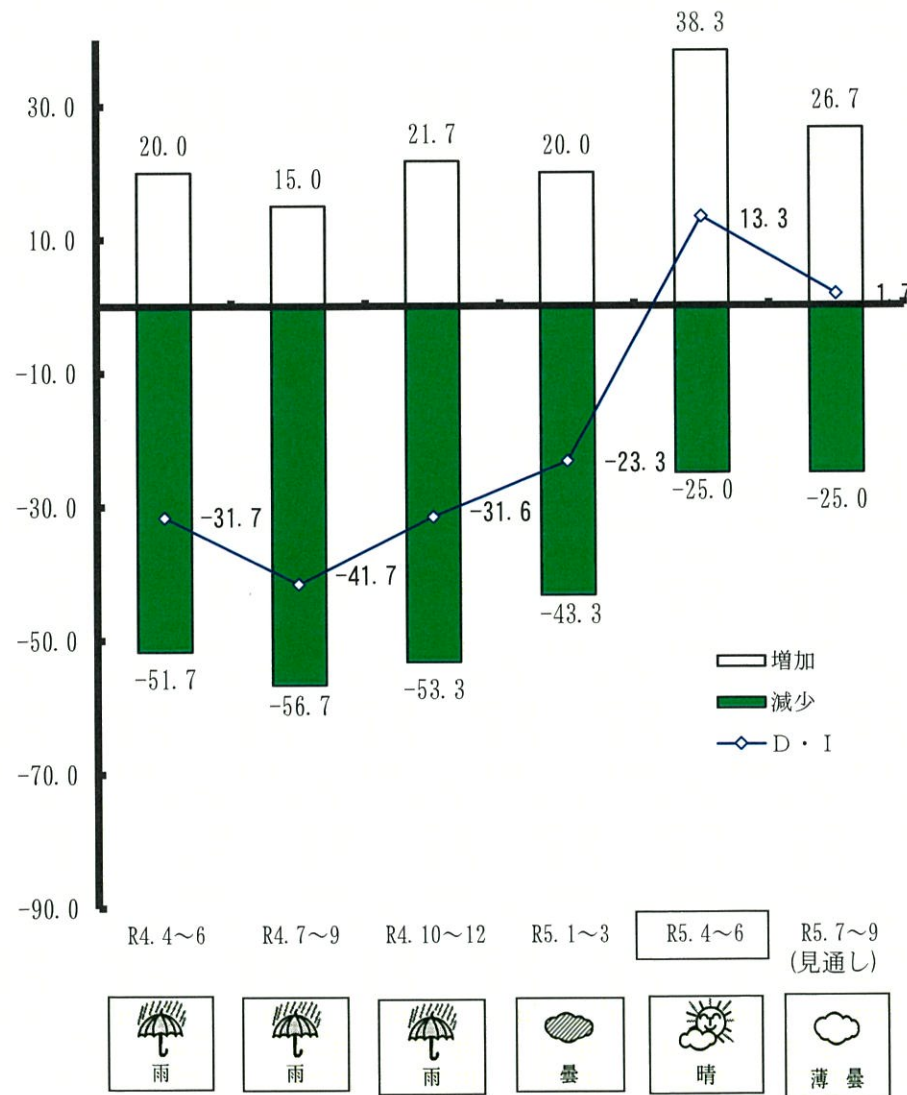
<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が18.3ポイント増加し、売上高減少企業の割合が18.3ポイント減少したため、売上高D・Iは36.6ポイントの大幅な増加となり、13.3まで回復しました。

プラス域までの回復は、平成24年4月～6月期以来、11年ぶりとなります。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が減少となり、売上高減少を予想する企業割合が今期と横ばいとなることから、売上高D・Iは悪化するものの、依然としてプラス域にとどまることが予想されています。



サービス業の推移

採算

<今 期>

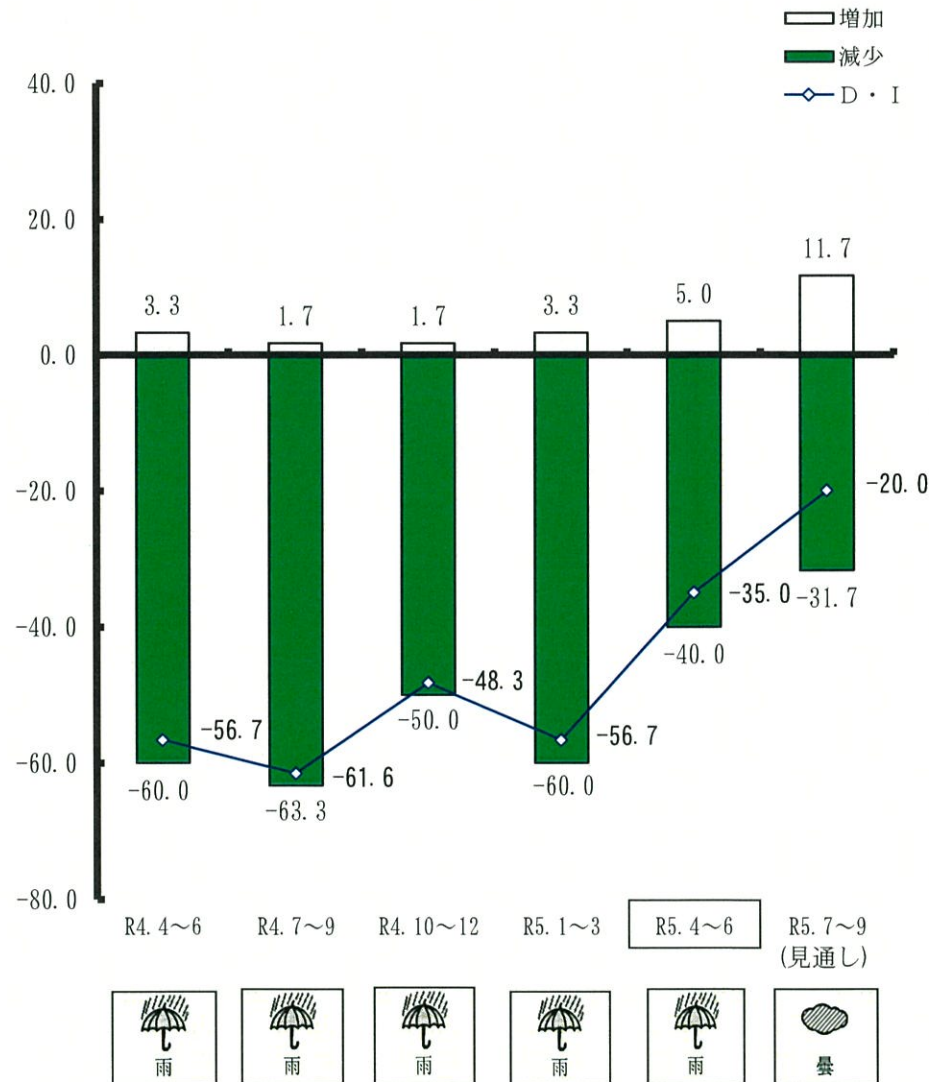


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が5.0にとどまったものの、採算が悪化した企業割合が20.0ポイントの大幅な減少となったことから、採算D・Iは再び増加に転じ、△35.0まで改善しています。

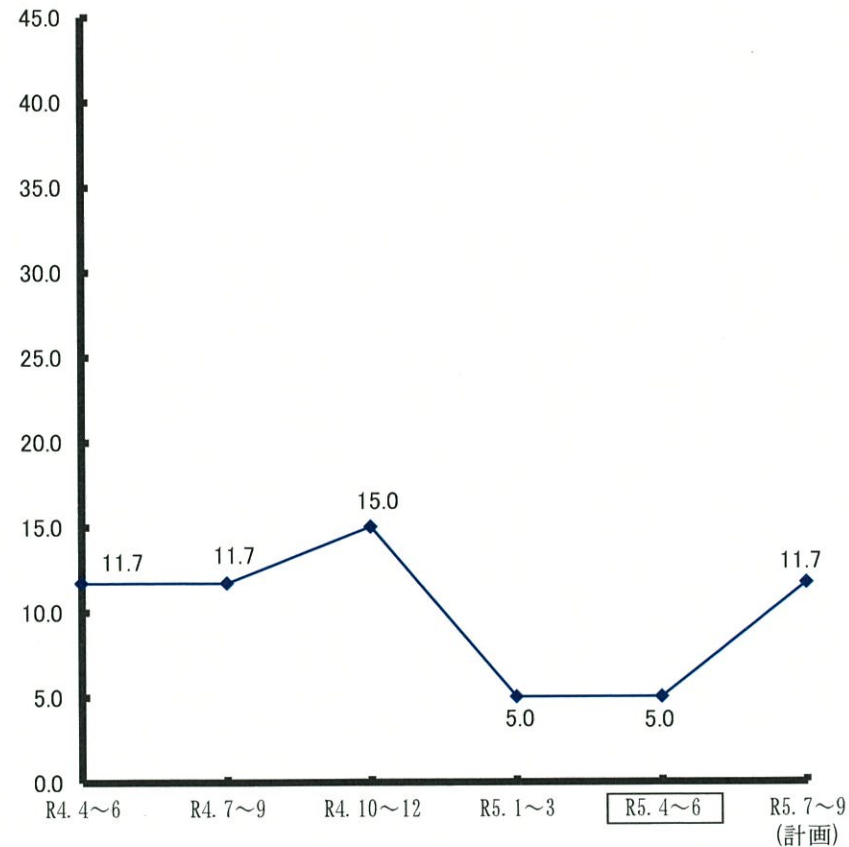
来期は、採算の改善を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合が今期に引続き減少することから、採算D・Iは今期を含む直近5期で最も高いレベルとなる△20.0まで改善する見通しです。



設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は、前期と同じレベルの5.0にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は増加に転じ、11.7まで回復する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

サービス業の推移

経営上の問題点

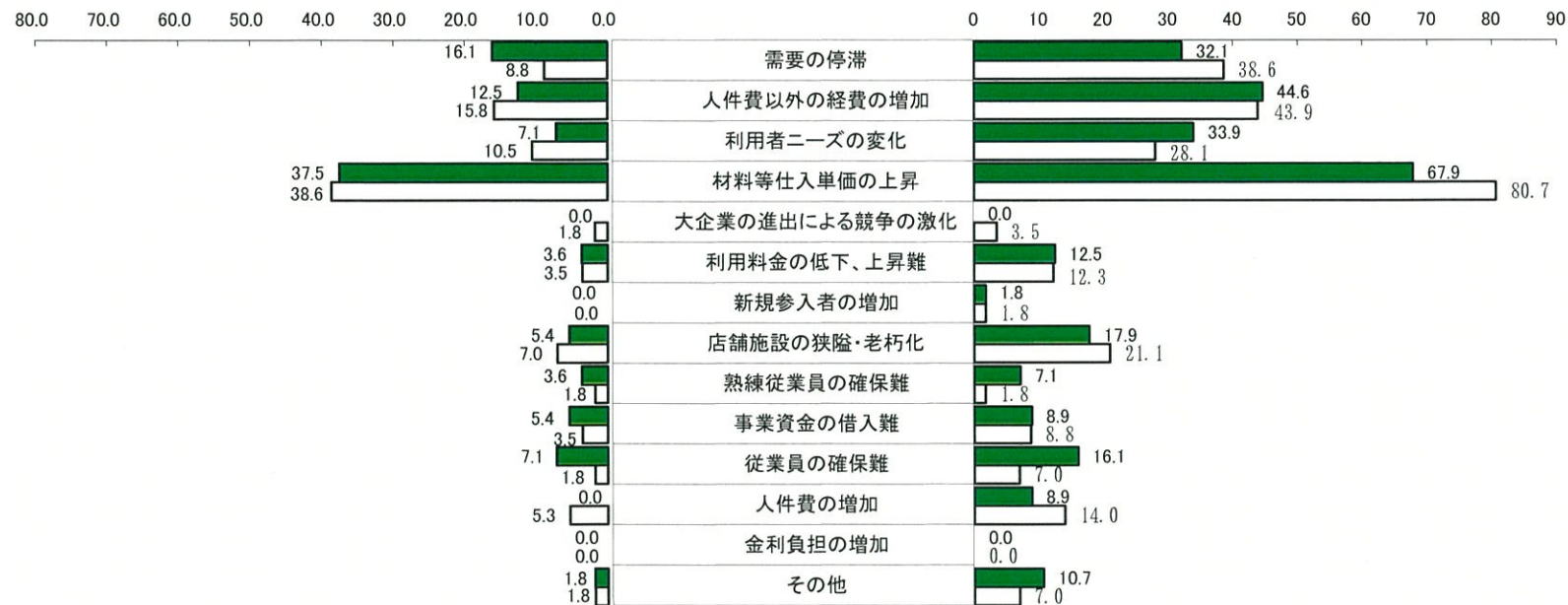
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

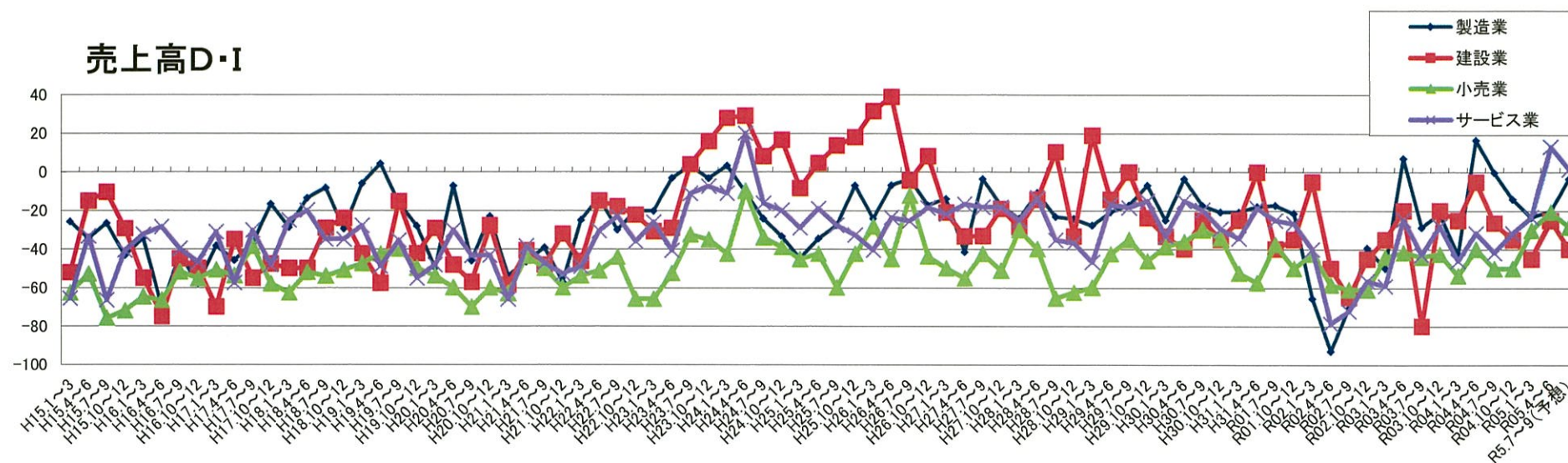
1位～3位の問題点

(目盛: %)

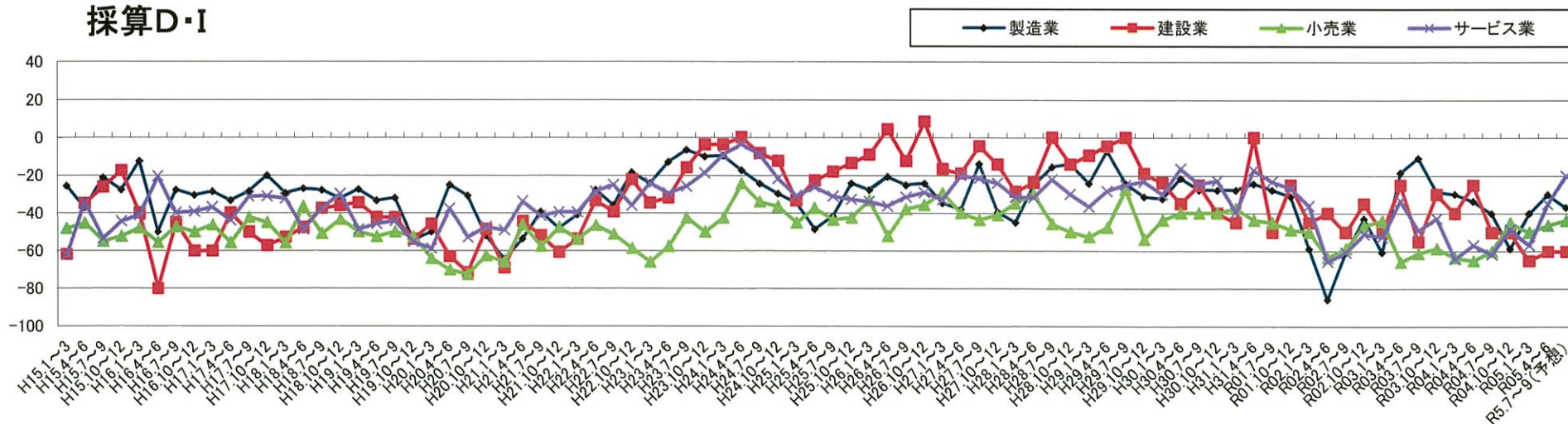


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、雫石、岩手町、紫波町
(商工会名) 西和賀、田野畑村、普代、軽米町、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調査対象期間 令和5年4月～6月を対象とし、調査時点は令和5年6月1日としました。
3. 調査方法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)	30 (20.0)	30 (20.1)	100.0
建設業	20 (13.3)	20 (13.4)	100.0
小売業	40 (26.7)	39 (26.2)	97.5
サービス業	60 (40.0)	60 (40.3)	100.0
	150 (100.0)	149 (100.0)	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。